

専門的知識の習得促進と実践力の向上を目指した施策

執行額：4,237,903 円

使 途：受講料支援、受験料支援、講師謝礼、教材購入費

企画・内容：①心理系学生に対するデータサイエンス教育の取組

②プログラミング言語教育とコンピューショナル・シンキング育成

③対人スキルアッププログラム

④英語 4 技能オンラインテスト

⑤「心理学をコアとする人間科学」の教育実践及び研究についての情報収集

成 果：

- ・①～③では、正課で学んだ内容を補強する講座・セミナーを実施し、学部・大学院生の積極的な参加があった。事後のアンケート等からもより深い知識の定着が見られ、効果のある取り組みとして好評だった。
- ・④は、学部独自に英語 4 技能オンラインテストを導入し、その受験料を補助。学部が重視している英語での発信力（スピーキング、ライティング）が高い水準にあることが確認された。
- ・⑤は、研究科の正課科目「社会の中の人間科学」「心理実践実習」に心理学をコアとする人間科学に関わる研究領域専門家を招き、話題提供や受講者との意見交換を通し、援助専門職に求められる基盤づくりを促進した。

学習活動を支援する施策

執行額：8,209,145 円

使 途：ES・TA 謝金

企画・内容：⑥ES/TA 予算

⑦アカデミック・ライティングの包括的教育体制の整備と維持

成 果：

- ・⑥では、新型コロナウイルス禍が続くなか、対面とオンラインを活用した新たな形態の授業運営の中で生まれた学生・教員の様々な支援ニーズに対して、円滑な授業運営を進める上で TA や ES のサポートが一定の寄与をはたした。
- ・⑦では、学部教学の中で求められるアカデミックなライティング力の向上を目指して、授業の一部を専門の業者に委託し、より質の高い授業を展開することができた。

キャリア形成を支援する施策

執行額：116,999 円

使 途：講師料（謝礼・交通費）

企画・内容：⑧キャリア科目「社会の中の心理学」と総合心理学部アドバイザーボード

成 果：

- ・⑧は主に学部1回生を対象にした「社会の中の心理学」において、心理学を学んだ様々なゲストを招聘、自身のキャリアや人生などについて語ってもらい、学生の将来を考える契機となった。引き続き、学生の進路選択への包括的アドバイス、社会状況の変化を踏まえた進路選択の支援を行うための、卒業生、教員を中心としたアドバイザーボード設置に向けて取り組む。

地域・社会との連携を通じた学びを促進する施策

執 行 額：759,518円

使 途：施設使用料

企画・内容：⑨R コミュニティサイコロジスト育成と安心な暮らしを支える「ぶらっとホーム」活動のための地域連携

成 果：

- ・⑨では、新型コロナウイルス禍においても学生・院生と地域住民の交流の場としてのコミュニティカフェの活動を定期的に開催できた。学生の主体的な動きが活発化し、当該センターをフィールドとした卒業研究につながるケースも出ており、学生の成長機会となっている。

研究力の向上を目指した施策

執 行 額：1,043,678円

使 途：講師招聘費、委託費

企画・内容：⑩質的研究法講座

⑪研究倫理審査システムの開発

成 果：

- ・⑩では、10月26日から30日の期間、1日2コマ（1コマはオンデマンド）の講座を実施。2020年度学校法人のグッドプラクティス表彰を受け、オンデマンドで全学内に公開し、学生・院生、教員に加え附属校教員など広い参加層に学びと成長の場が提供できた。
- ・⑪では、学部生・院生の卒業論文や修士論文の執筆にあたって、人を対象とする研究を実施する際、その内容の適否等を審査する独自の研究倫理審査委員会を設置、運用しており、これら多数の倫理審査申請をより精緻化・迅速化するため、倫理審査業務の電子化の検討を実施した。2022年度秋以降の運用開始をめざして検討を継続している。

以 上